

ロースバーク
 受信所
 知事局
 八月三日
 行
 力五号

△南太平洋戦況

田取部隊暴風雨下に
 ミルネ湾頭上陸完了

濠洲聯合軍司令部UP発電所報
 によれば聯合軍はニューギニア攻略のため襲
 来してゐる日本海軍並に上陸隊を迎へて
 衝突戦開始した。ジヤワ攻略以來の大
 危機迫る。同所海岸二百余哩に亘る
 日本軍上陸戦区はミルネ湾よりココタ
 基地に及び上陸戦に慣れた田取部隊が
 占據してゐる。ラエ基地よりニューギニア
 東北大端を經ココタに至る間に各所接
 戦最中である。田取部隊は日本巡洋艦
 一隻駆逐艦八隻に護られて土曜朝暴風
 風雨に際し怒濤高きトリス海峡を突
 破しミルネ湾に上陸せしめて最初巧に
 テントレカスト島影に空襲を避けて
 るたが暴風のため空襲不可能の時機
 を覗つて上陸作業に奏功した。聯合軍
 は右外ラバウル島、カ島、アムホニア沖を
 空襲した。

△欧州戦局一般

赤軍稍優勢を示す

モスカウUP発電によればスターリング
 ラード防衛赤軍及義勇軍は西北門に
 迫つた独乙機部隊を撃退した。外敵
 ケ所其他戦区も独乙軍を撤退せし
 めた。死傷多し。又モスカウ西北部に
 進出独乙軍を迎撃中のスコーフ將軍
 傷勢となり沼地に行動を妨げられた
 独乙軍を追撃し始めた。独乙空軍は
 四百九十八台を失つた。更に南、コーカサス戦
 地ではチモシエンコ將軍再びプロクラド
 ネンスキ地帯を奪還した。赤軍は昨
 夜空襲隊を伯林、コーニクスベルグ及び
 ダンチヒ並にステッテン方面へ送り投弾した。

緊急警告

けさ才十中隊偵察所で又一定の蠍(サソリ
 Scorpion)を発見すべし殺した。是れで同
 所て三足目又同中隊構内で四足目である
 長さ僅か二寸足らずの此種類の蠍が此の
 附近に棲む二十幾種(中には蝦蟇シヤコ
 位の大さのものも含む)の中で一番有毒な
 ものであることは権威者スターケル博士
 の警告してゐるものであります。殆んど療
 法無しと云はれてゐる。

應急手当當は

一、すぐ炊事場へ走つて氷片で整れた
 局部を推さへよ

二、氷裏を作つて右の氷片と交へる
 三、それから医者に診察を乞ふこと
 四、浴場、便所、台所等濕氣多き
 板片の裏などを注意して発見
 次第殺して下さい。

知事局より

△病院訪問パス

知事局にて発行す 執務時間中
 に申込まれたし

見舞贈問は平日は午後五時より
 七時まで日曜は午後二時より四時まで

△知事局執務時間

午前八時より十二時まで
 午後一時より四時まで
 土曜午前中 日曜休み

埋橋耕作氏送別会

明日夜八時才
 十二中隊食堂に於て今回交換船で帰國す
 る長野果人埋橋耕作氏の送別と長野果
 人の親睦を兼ねた集合あり果人の出席
 を望むと。

紛失物

昨日曜野球選手の腕時計
 計一個紛失しました発見された方は才十二中
 隊へお届け下さるようお願い致します

SPORTS

才十中隊 三戦三勝 才一位
 才九中隊 二勝一敗 才二位
 才十二中隊 一勝一敗 才三位
 才十中隊 三戦三敗 才四位

◎日曜野球戦

月今宵妻子しぬひて
 そぞろありくひとやの
 庭のこほろぎの聲



午前九時より才十中隊対才十二中隊の
 リーグ戦は十二中隊先攻に仍り開始され白熱
 的挑戦の結果才七回戦を終了スコアは九
 対四の差で才十中隊優勝した。此の目倉本
 君の本塁打は當日の花形であつた

午後一時半より才九中隊対才十一中隊
 のリーグ戦は十七対七の差で才九中隊が
 優勝した。今日迄の成績は左の通り

才十中隊 三戦三勝 才一位
 才九中隊 二勝一敗 才二位
 才十二中隊 一勝一敗 才三位
 才十中隊 三戦三敗 才四位

月 矢崎天洋



趣味だより



△中隊才三察、翰長関口正造君の趣味？はのろい秋の蠅を生捕って片羽根をもぎとり冬支度に血眼になつて居る様と闘はせて作戦三昧に入ることである

▽朝顔の嫩葉のどこか濡れてゐる...これは素十の名吟だぞうたか、そんな朝顔の芽生えか其処この察に見へる才三中隊の風間老が大分種を配つたらし

△川柳

砂ぼり社

第二面題(角力) 安武雀喜先生選

(天) 草角力大開勢しはげかり (雨庄)

(地) がっちり四つに組んだ肉体美 (風人)

(人) おま塩も一番だけは美事勝ち (柳平)

次回課題(友)三句宛 又切九月二日(水)

作句は才三中隊才三察沙人迄にお届下さい

敬告外國人の

財産保管人任命

廿九日発行の羅府エキザミナーによれば今回中央政府はH.R. Oakley氏を農業財産保管人

AGRICULTURAL PROPERTY CUSTODI

DNにJ.F. SLOAN氏を商業財産保管人に任命した其れは敬告外國人の農業財産保管人を主としたものであるから農又は商の財産につきソラブルの有るものは右保管人申請したらは宜しからう

收容所 矢崎天洋

たもとほる收容所の隅の高やぐら 兵にらみをり ミシン・ガンの辺に

この收容所一天晴れて

かかやかに まちいつる日の

ありやあらずや

新來の寮友を迎ふ

一行百数十名のインタン諸公を迎へて歓迎の辞を呈する

何れも久しい收容所の生活に稍憔悴の色はあるが元氣は潑刺たるも

つかある インタンは男子の本懐であると言つた喜意気込には自

ら共鳴を感ずる

三組に分けて客車の色分けは振

つて六十才組五十才組四十才組

で若い方の分は金網張りで見張

嚴重を極め年寄組は比較的寛

大であつたそうだが行先まつくらで何処へ送らるや五里霧中

の汽車の旅我が子があると傳へられ嬉しき涙頬をつたつた老紳士もあり親しき友と幽囚半歳再会の喜を共にする人の

多き感慨無量の場面であつた三伏の炎熱もいし秋の訪れを受け焦

熱地獄を徳はせし新墨州の大砂漠にも見る人の心ころにまかせおき、

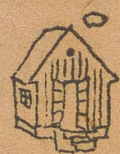
雲間に登める秋の夜の月と娑婆即ち寂光の土でう心境に同族愛を高調し各員の御健勝を祈る次才

であります (K生)

英語だより

前便の通り私はホームランを打った、か今度は次の土曜の晩の演藝會へ出る、今立派な舞台が出来、皆熱心に稽古中だ、定めし当夜は盛況だらう

(1) As I told you in my last letter, (2) I snatched out a honor. (3) Now I am going to take part in the entertainment to be given next Saturday evening. (4) Now they are building a fine stage. (5) And they are rehearsing in earnest. (6) It will be a big success on that evening, I guess.



才三中隊 人名録

第九中隊第七察

廣島

増田太郎 大澤幸夫 坪田良作 竹田賢一 保田正人 吉本四作

壱

山西唯夫 松本兼重 和田熊一郎 和田爲一

福岡

中林俊雄 能谷健二 岡部梅三郎 神澤常太郎

山口

山本貞一 矢儀敏 齊藤宗一 小山長記

高知

長石正男 森岡常茂 磯部七之助 横飛忠行

茨城

船橋羊一 稲葉秀雄 三浦澄根

山梨

塚平九藏 和田正彦

長野

城戸勝象

宮城

今村栄樹

熊本

日高虎雄

鹿兒島

佐藤誠太郎

宮崎

新瀉

